

平成25年度 第9回 経営戦略会議 審議結果

日時：平成26年1月28日（火）10：30～12：00

場所：5階庁議室

- 【議 題】 熊本市学校規模適正化基本方針（素案）について
- 【提 案 局】 教育委員会事務局（学務課）
説明者：廣塚教育長
- 【出 席 者】 幸山市長、牧副市長、高田副市長、飯銅総務局長、原本企画振興局長、岡財政局長、宮本健康福祉子ども局長、永山都市建設局長、前渕中央区長、西島東区長、永田西区長、永目南区長、石原北区長
- 【付議内容】 熊本市学校規模適正化基本方針（素案）について確定したい。
- 【資 料】 ◇付議事項調書（様式1）
◇熊本市学校規模適正化方針スケジュール（案）
◇熊本市学校規模適正化方針（素案）【概要】
◇熊本市学校規模適正化方針（素案）
◇熊本市学校規模適正化の取り組みの方向について（素案）
◇政策調整会議内容検討表（様式4）
- 【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承
- 【議事概要】 ◇熊本市学校規模適正化基本方針（素案）について、以下の点に対応の上、了承した。
・適正化の手順において、地元説明会、地域懇談会、新校準備会のそれぞれの役割を明確にするとともに、それぞれの関係を整理すること。
・特に留意する事項について、地域住民の了解をどこまで表記するか検討したうえで、全体のバランスをとった表現に修正すること。

【審議の経過】◇地域懇談会は、この方針に基づいて新たに設置するのか？また、地域の了解と地域懇談会との関係はどのように考えているか。（原本企画振興局長）

⇒地域懇談会は、良好な教育環境確保のためには統合が必要との理解をいただくため、複数の校区の住民の方に、その地域にとってどのような方向が一番いいのかを協議していただく場として設置。いくつかの案を示す地域では、方向性の絞込みが図られると考えている。（松永学務課長）

⇒地域のコンセンサスのとり方は重要。地域懇談会で了承を得たら、そのまま地域の了解とみなすのか。（永目南区長）

⇒現在も、校区自治協議会の代表の方にある程度集約していただいている。地域懇談会は、いろんな校区の意見を出していただく場と考えているが、その中では、こちらから示した案をもって、地域の中で意見を伺っていただければと考えている。必要であれば、説明会も行いたい。（松永学務課長）

⇒統合する方とされる方、双方に丁寧な説明を行っていただきたい。（永目南区長）

◇特に留意する事項について、1番に地域住民の理解が原則と記載されているなど非常に配慮されている。地域住民の理解は必要であり、姿勢としてはしっかりと持っておかなければならないが、もともとの適正化の大原則は、子どものための教育環境整備を優先させることである。丁寧に何度でも協議しながら進めていくのはもちろんだが、地域の了解をどこまで表記するかについては、検討が必要。また、地元説明会、地域懇談会、新校準備会について、それぞれの役割を明確にすべき。（幸山市長）

⇒3の特に留意する事項について、表現のバランスが取れていない。（原本企画振興局長）

⇒表現について検討する。（廣塚教育長）

◇保護者と地域住民の方々が同じ扱いになっているが、実際に子育てをする保護者の方は、少し重く扱ってもいいのではないか。（牧副市長）

⇒書き方を工夫させていただく。（廣塚教育長）